

『木のせりふ』 ≈ 木のおしゃべり、どんなおしゃべり ≈

近年では、木はお互いにコミュニケーションを取っていることが知られています。もちろん、私達にはその声は聞こえませんが... ここでは、そんなおしゃべりの内容を想像してみましょう。

手順



① 紙を「フキダシ」の形に切り取ります。
(市販のカードやフセンを使用してもOK) 切り取る

② おしゃべりしたいような所に、「フキダシ」にせりふを書いてクリップやテ・ゴで固定します。
(置ける所には固定せず、そのまま置いてもOK)

- 木だけでなく、木の落とし物(落ち葉、木の突、小枝)もOK-

③ カナラにおさめて投稿します

注意



- ① あぶない場所に立ち入らないで! カナラ
- ② 危険な生きものに注意しよう! (ハチやムシなど)
- ③ 「フキダシ」はかならず持ち帰ろう!
- ④ キャンプ場や森林公園のような場所では管理人に許可をとって!

※手順は投稿用アレンジしています。実際の体験ゲームと異なります。

〈木のセリフ〉



→楽しみ方→

- ① 木をじっくり観察します。
- ② その木の面白いと思う部分を見つけます。
- ③ その部分が言いそうなセリフを考えて、吹き出しカードに書きます。
- ④ その部分と吹き出しを写真に撮ってSNSなどでシェアしたり、友だちに紹介します。

〈木のセリフ〉の
情報はこちら



設置店募集! ご連絡ください!

シェアリングネイチャーライフ Vol.35 通巻116号
発行日 2021年12月15日
発行人 日置光久
発行所 公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-13-17
ワークスナカノ2階
Tel. 03-5363-6010 Fax. 03-5363-6013
メール jimukyoku@naturegame.or.jp

編集: 佐々木香織、校閲: 真 (風讀社)
デザイン・DTP: 花平和子
表紙写真: 小山直彦
本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断掲載を禁じます。

編集後記
珍樹ハンターの取材で「台風が来ると心配で、皆(珍樹)の安否確認に行くんですよ」と聞きました。安否確認という言葉に笑ってしまったけど、いや待てよ……究極はそこなんだな。うーん、奥が深い!(佐々木)

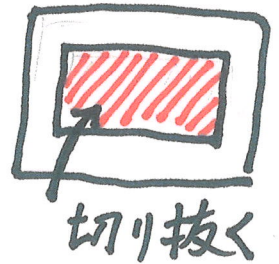


『森の美術館』 ～ 森は無限のキャンバス～

自然を散歩していると、絵にしたい光景と出会います。
このアクティビティでは、自然をキャンバスにして、自分だけの絵を完成させて下さい。

手順

- ① 「ガクブチ」を作成します。
A4、2L版、「ハガキサイズ」の紙を切り抜きます。
- ② 自然の中で絵にしたい光景を探します。
- ③ 「ガクブチ」をクリップやテープで固定して
(固定できない場合、手に持ってもOK)
カメラにおさめて投稿します。



必ず題名を付けてネ!!

注意



- ① あぶない場所に立ち入らないで!
- ② 危険な生きものに注意して!
～ ハチ、ムシなど～
- ③ 「ガクブチ」はかならず持て帰って!
- ④ キャンプ場や森林公園では管理人に許可をとって!

※手順は投稿用にアレンジしています。実際のネイチャーゲームと異なります。

『木の百面相』～あの木、だれかに以ている～

道を歩いているとき、ふと見上げた木が誰かに以ていると感じたことはありませんか。ここでは、そんな思いをすこし掘り下げてみて、絵にしてみましよう。木がかたりかけてくるかもしれませんよ。

手順

- ① 公園などの場所で人に以た木を探します。
(街路樹でもOKですが車道には絶対立ち入らないで!)
- ② その木をカメラにおさめます。
- ③ 木の写真とどのように見えるかの絵と並べて投稿します。～デジタル処理OKです～

注意

- ① あぶない場所に立ち入らないで!
- ② 危険な生きものに注意して!
(ハチやムシなど)
- ③ キャンプ場や森林公園などで行うときは、管理人に許可をとって!

※手順は投稿用にアレンジしています。実際のネイチャーゲームと異なります。